

患者の皆様へ

2017年12月27日
婦人科-周産期母性科

周産期母性科では、各種合併症妊娠・胎児異常の管理を行っています。今後の診断・治療に役立てることを目的に、今回、胎盤嚢胞性疾患（間葉性異形胎盤・共存奇胎・部分奇胎など）の患者さんの診療情報などを利用して頂きます。この疾患は、妊娠中に診断をすることが難しいと言われていますが、超音波を使用して診断可能かどうかの検討をします。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「胎児の共存する胎盤嚢胞性疾患の超音波所見に関する後方視的検討」
2. 研究の意義・目的 当科で上記と診断された方の超音波像をまとめます。
3. 研究の方法

2009年～2016年に千葉大学医学部附属病院周産期母性科で上記の診断となった患者さんの超音波像・年齢・妊娠分娩歴・身長・体重・診断・周産期経過・合併症・血液検査などをカルテ（含む電子カルテ）から調査し、まとめます。研究内容は、学会・学術誌に公表予定です。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化を行い研究に用います。個人情報が外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学病院周産期母性科の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院婦人科-周産期母性科
本件のお問合せ先 : 千葉大学医学部附属病院婦人科-周産期母性科
医師 尾本 暁子
043（226）2121 内線5312